

あいのう消費者の会

いきいき通信

発行 愛農消費者の会いきいき通信編集部
連絡先 愛農流通センター名古屋本部
名古屋市天白区井口2丁目903番地



グローバル春の試食会

5月3日に「グローバル春の試食会」が同社のある岐阜県恵那市串原で行われました。

ソーセージなど同社商品の試食ができるほか、ライブ、バザー、散歩など一日家族で楽しめ、リピーターも多いイベントです。参加者に感想を聞いてみました。

試食会でおいしかったものには、サイコロステーキ、ソーセージ、フライドポテト、目玉焼き、こごみなど山菜、ドライカレー、竹の子煮物、白和え、天ぷら、焼きそば、トマトパスタ、焼肉、カレー、野菜サラダ、ホットドッグなどがありました。全ておいしかったですという意見も。

味については、「和洋、エスニック、旬のものなどバラエティ豊かなのにハズレがない」、「焼き立てで、味付けがしっかりしていておいしい」、「香辛料やハーブなど上手に使ってあり、料理のアクセン

トになっていた。家でも試してみたい」という感想がありました。

楽しかった点を聞いてみました。「散歩、ツリーハウスへの道、ライブ。どれも子どもたちものりで楽しんでいた」、「（セルフで炭火で焼く）ソーセージの火あぶり。子どもが喜んだ」、「本の読み聞かせ」、「生の音楽久しぶりで、Mountain Mountain楽しかった。ハイキングでは、グローバルの製品を生み出す環境、携わる人たちの生活の一部をほんの少し見せてもらえました。ガイドしてくれた少年（小学生）の案内もよかったですよ！」、「日頃経験できないことが経験できた」、「（散歩など）たくさん食べたあとの体に丁度よい。子どもが場に飽きてタイムイングがよい。やっぱり外遊びで体を



手づくり絵本で読み聞かせもありました。

使うのが大好き」。

そのほかに、「スタッフの方が精一杯おもてなししてくれてうれしく、また、ありがたく思いました」、「歌入り、音楽入りで親子共々楽しめました」、「いつもおいしい食事や楽しいイベントをありがとうございます。生バンドがよかったです」、「人数も丁度よいくらいで楽しめました。川に入る時間がなく、案内がなかったのが残念」、「青空の下、とっても楽しく、とっても美味しく、素敵な時間がありました」、「想像していた以上に、試食の味がよく、量もたくさんあり、満腹になりました。その他も盛りだくさんで楽しめました」という感想が寄せられました。

「行列の緩和はできないものでしょうか？全メニューに一つずつではなく、メニューごとに分かれて列に並んでは？」といった提案もありました。まだ行ったことがない方は、毎年五月の連休に開催されますので、行ってみたいかがでしょうか？

グローバルの「福島子ども元気プロジェクト」

3月10日あいのう消費者の会主催で桜井登也さんの写真展を行いました。震災についてあらためて思いを強くしました。

あいのうでもお馴染みの岐阜県串原村のグローバルさんが、福島県福島市や郡山市のお子さんや親御さんたちのリフレッシュキャンプをしていることを皆さんご存知でしょうか？ボランティアや地域の方々の協力、寄付や支援グッズの売り上げにより、2012年から毎夏3泊4日の日程で行われています。参加者は親子合わせて20名程度。串原の自然の中で川遊びや流しそうめん、野菜アスロン（野菜を探しながら地域を回る）をする



昨年のキャンプの様子

など楽しく豊かな時間を過ごします。

福島に帰ったお子さんが「大きくなったらボランティアがしたい」というエピソードも。グローバルさんがまいている温かな種がいろいろな形ですくすくと育っているのを感じます。「福島子ども元気プロジェクト」ぜひ応援していきたいですね！
※支援グッズはTシャツ2600円、缶バッジ4種各200円
※寄付はゆうちょ銀行 店名248口座番号 普1457527
福島子ども元気プロジェクト

問い合わせはグローバル（電話0573-52-2085）まで。

NPO法人 矢作川 自給村 稲穂の里とは？

これから「いきいき通信」の一部に定期的に自給村の活動の様子を載せて頂く事となりました。ありがたい事でありませぬ。ですので初回に自給村を何故設立したのか、目的は何かを述べたいと思ひます。

自給村は16年前から、愛農が大切にきて来た「顔と顔の見える関係」で農業の見学会や交流会を頻りに開催して来ましたが、その中から消費者の一部から、もっと農業の事が知りたい、自分で農産物を育て子供に本物の旬の味を体験させたい、との意見がでました。その頃「ワーキングホリデー」と云う言葉が出始めたころで、土日の休日を利用して開催しよう、農家である池野の周辺も農地を預かってほしい田畑が出て来ました。うまく話がまとまりスタートしました。

当初はクワ1本もなく親父の道具を借りました。休憩場所もなくシャワー室や台所もなく、木の下で弁当を食べる状況でした。試行錯誤しながら収穫した農産物の分配方法を考へて来ました。それならNPOにしたらどうかと話が進展しました。ひょっとしたら行政の援助も頂けるかもしれない等の期待もありました。

名前を考へた時に池野の周辺(矢作川)で自給のために(収穫して売るのでなく自らが食べる)それもお米を(稲穂)中心にする。「矢作川 自給村 稲穂の里」と決まりました。

活動も名前の通りが中心ですが、その他にもビオトープを作ったり、子供達に農業を指導したり、自然を知る、体験するイベントも数多く開いて来ました。昼食も作りますので食育教育に繋がればとも考へております。16年間続けて来まして、続ける事の大切さを感じます。この中から子供が何人育った事でしょうか。農業や自然を大切にする心を養った若者に育ってくれたと思っております。(NPO法人 矢作川自給村 稲穂の里 村長 池野雅道)

重ね煮料理教室のご案内 野菜を順に重ねて、水を加えず蒸し煮する重ね煮を学びませんか？様々な料理に使い回しができ、忙しい方にぴったりです。

日時：6月7日(日)、集合9:50、終了13:30、場所：半田市板山公民館(板山町1-100-11、Tel 0569-27-5566)、講師：山岡孝幸さん、参加費：大人2,000円、小学生以上の子供300円、園児200円、未就園児100円、乳児無料。持ち物：野菜2個(じゃがいも1個、玉ねぎ1個など家にあるもので可)エプロン、三角巾、ふきん、タッパー、筆記用具、。申し込みは5月30日までに豊田(080-1619-6950)までお願いいたします。

ベジランチがおいしい～ 雨風食堂

知多半島の河和港近くにベジランチが楽しめるお店「^{あめかせ}雨風食堂」ができたので、行ってきました。

この日は鶏肉を使ったスープカレーランチほか、大豆ミートを使ったロールキャベツのベジタリアンランチがありました(いずれも800円)。メインの献立以外にご飯や旬の野菜を使ったおかずも2~3品ついていました。調味料や食材は「子供たちの未来のことを考へて、できるだけよいものを選んでいきます」とのことです。

ドリンクもオーガニックのコーヒーやリンゴジュースなどがありました。デザートは卵、牛乳やバターなどの乳製品、白砂糖不使用の自家製です。住所 知多郡美浜町大字河和字北屋敷36-89、駐車場は河和港の高速船のりばをご利用ください。電話0569-82-3113、営業時間 11:30~14:30(ランチタイム)、14:30~17:30(カフェタイム、食事もOK)。不定休なので、来店前に電話確認を。(じ)



本の玉手箱 ささきますみ

「塩と砂糖と食品保存の科学」

食品保存と生活研究会 編著 日刊工業新聞社

1600円(税別) 2014. 3

砂糖と塩って、毎日使いますが実はよく知らない。そう思って手に取った本です。本当はどういうものなのか？その種類は？製法は？そして砂糖や塩を使った食品について。どうして保存食で昔から使われているのか。実際にはどのくらいの濃度で使うといいのか、等、すぐに役に立つ情報も写真入で盛りだくさんです。最終章では「塩と砂糖と人間の体」を取り上げ、具体的にどのように使うと有効かがわかりやすく述べられています。切れるとお料理できませんよね。毎日使うからこそ、勉強したいです。

編集後記 今回は消費者の会スタッフ募集の案内です。会ではいきいき通信の発行ほか、料理教室や添加物勉強会などイベントの企画をしています。定期的に集まり、打ち合わせをしています。普段会うことがない消費者同士が集まるので、情報交換ができ、つながりもできます。毎回の参加でなくても、イベントのお手伝いやいきいき通信の記事の執筆だけでもOKです。興味ある方は愛農知多営業所の小谷さんまでご連絡ください。(じ)